

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

798

漁港管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	3	農林水産業の活性化
施策	2	水産業の振興
取組方針	3	漁業を取り巻く環境の整備・保全

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		農林水産業費	
	項		水産業費	
	目		漁港管理費	
	大事業		漁港管理事業	
中事業		漁港管理事業		

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 農林水産課 清瀧 篤樹 435-1049
事業実施の根拠法令	和歌山市漁港管理条例		関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	漁港施設の維持管理業務		和歌山市管理漁港である雑賀崎漁港および田ノ浦漁港における漁港施設の維持管理および必要な施設を整備する。		
事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
	主な歳入・駐車場等使用料・漁港施設使用料・プレジャーボート等係留施設使用料	主な歳入・駐車場等使用料・漁港施設使用料・プレジャーボート等係留施設使用料 漁港施設の所々修繕、整備工事及び修繕工事等	漁港施設の修繕工事等	漁港施設の修繕工事等	漁港施設の修繕工事等

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	33,760	37,672	48,269	46,994	67,111	62,279	36,374	0	36,374	0
伸び率(%)	27.5%	42.5%	43%	24.7%	39%	32.5%	△45.8%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	8,296	6,860	6,874	8,392	9,987	8,940	8,457	0	0
	正規職員以外	4,994	6,193	771	299	211	308	308	0	0
	小計	13,290	13,053	7,645	8,691	10,198	9,248	8,765	0	0
国庫支出金	0	0	1,184	0	0	3,250	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	17,869	820	0	0	0	0
市債	0	0	10,900	0	13,400	20,700	3,200	0	0	0
その他	29,291	32,937	33,501	0	34,016	37,850	36,765	0	0	0
一般財源(税等)	4,469	4,735	2,684	46,994	1,826	△341	△3,591	0	36,374	0
所要人数(人)	正規職員	1.04	0.86	0.86	1.05	1.24	1.11	1.05	0.00	0.00
	正規職員以外	2.00	2.48	0.38	0.19	0.13	0.19	0.19	0.00	0.00
主な予算内訳	雑賀崎漁港内駐車場の整備10,530千円、漁港管理委託料20,003千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
	海水浴期間中の浪早ビーチでの死亡事故の件数	目標値	人	0	0	0	0	0
実績値		0		0	0			
達成度(%)		100%		100%	100%	%		
達成度(%)								
漁港施設の使用料等の歳入の増額を図る。	目標値	千円	29291	33501	34016	36765	36765	
	実績値		32856	23524	31000			
	達成度(%)		112.1%	70.2%	91.1%	%		
	達成度(%)							

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	雑賀崎、田ノ浦漁港の維持管理を行うための漁港管理事業の事業費の大半を漁港施設の使用料等の歳入でまかなっているため現状維持のままで妥当であると考えています。
見直し・改善内容	平成28年度に浪早ビーチの駐車場を自動化にしました。 今後、雑賀崎及び田ノ浦漁港の漁港施設の機能保全計画を策定し、老朽化等により修繕が必要な箇所があれば整備を行い、本来の漁港機能を発揮していきたいと考えています。